貯蔵庫新築と選果場整備

そうべつアグリフーズ　旧久保内中敷地

タマネギ加工販売のそうべつアグリフーズ（壮瞥町南久保内142、南和孝社長）は、廃校した壮瞥町立久保内中の敷地内で計画するタマネギ貯蔵庫新築と体育館を改修して使う選果場について、2020年度の国の交付決定後、入札で施工業者を決める考えだ。年度内の完成を予定。21年度には加工場新築を計画している。

貯蔵庫は平屋、延べ1500平方㍍の規模。構造は検討中。コンテナ約1100基分を貯蔵できる。

一方、体育館（S造、平屋、延べ787平方㍍）を改修する選果場は年間約3580㌧の処理を見込む。

加工場は平屋、延べ2000平方㍍の規模で、構造は未定。年間約1500㌧分の加工を想定している。

建設地は壮瞥町南久保内142の旧久保内中敷地1万6078平方㍍。町と農業生産法人のミナミアグリシステム（同・壮瞥）が建物・土地の売買契約を締結。そうべつアグリフーズが賃借して利用する。

地元農家が栽培するタマネギを道内外の販売店に販売する。当初は加工場の着工・見込み、22年度からオンソーテなど加工販売に乗り出す。

同社は食品メーカー大手のカゴメ（本社・名古屋）とミナミアグリシステムが出資し、2月から文部科学省と業務協議に入る。

設置に向け、音工の実習室を置く2階の一部改修を検討。定員40人を想定して定員数に応じてベッドなどの設備や実習室をする。

大成建設人事（4月1日）▽秘書部長（東北支店副支店長）横田素之▽監査部長（支店管理担当）森島明部経理部長（北信越支店管理担当）中野雄一▽理管理本部財務部長▽安全本部安全部長（店安全・環境担当）稲境本部企画管理部長（店管理担当）藤本亨輔ンター生産技術開発部長（兼務　原子力本部原子力構造技術部第一計画課長兼務）▽営業推進本部兼理事（設備本部設谷川裕一▽ソリューション本部長（関西支店三野毅典▽建築営業一統括営業部長（建部第一営業部次長）▽建築営業本部長（建築営業本部

工場立地面積2倍

経産局19年道内　複数の大規模用地取得

北海道経済産業局が27日に発表した工場立地動向調査結果（速報）によると、製造業などの2019年道内工場立地は、件数で前年比4件減の20件、面積で20・7㌶増の38・3㌶だった。件数は過去10年で2番目に少ないが、面積は比較的大規模な用地取得が複数あったことから、過去3番目の高水準。前年比の伸び率は2・18倍と大きかった。

工場立地法に基づいて工場や事業場の建設を目的に1000平方㍍以上の用地を取得した製造業、熱供給業事業者などを調査した。道内の立地1件当たりの面積は前年より約1・2倍大きい1・92㌶で、全国平均の1・26㌶を上回っている。全国は件数が前年比152件マイナスの990件。面積で70・6㌶減の1248・2㌶だった。

本道20件の内訳を見ると、新設が13件、増設は7件だった。新設の割合は65%で、過去10年では14年の53・3%に次いで低かった。本社所在地で見ると道内は15件。道外は5件で、10年の2件に次いで少なかった。借地による立地は全体の10%に相当する2件だった。

工業団地内の立地は15件で前年比4件プラス。全体に占める割合は75%と過去10年で最高。前年は45・8%で、大幅に増えた。

業種別には食料品が7件で最多。このほか電気・ガス・熱供給で3件、飲料・たばこ・飼料2件、石油・石炭製品2件などがあった。地域別に見ると道央圏が16件で最も多く、前年より2件増えた。道東は3件減の3件、道北は2件マイナスの1件、道南は前年の1件からゼロになった。道央では石狩管内が8件と半分を占めた。

中古MS平均価格微増

1月道内　札幌上昇が全体押し上げ

不動産情報サービスの東京カンテイ（本社・東京）によると、2020年1月の道内中古マンション平均価格（70平方㍍換算、築年数28・2年）は、前月を0・1%上回る1656万円だった。最も事例数の多い札幌市が上昇したことで全体を押し上げた。

札幌市内の平均価格は0・5%増の1716万円。10区中、値上がりしたのは中央、北、白石、豊平、西、厚別、清田の7区だった。前月が下落だった中央区は、築年数の浅い物件が出回ったことで0・6%増の2339万円と盛り返した。

築分譲マンションが自立つ北区は、%増の1968万円と連続で上昇した。

一方、JR延伸再開発が進み、マンション需要が高い東区は、3・の1829万円とぶりに下落している。

札幌市以外は、

2020年1月札幌市内中古マンション動向

	平均価格	前月比	事例数	築年数
中央区	2069万円	0.6%増	570	26.8年
北区	1968万円	1.6%増	111	26.8年
東区	1829万円	3.9%減	85	22.5年
南区	1020万円	1%減	127	33.5年
西区	1644万円	1.9%増	162	28.7年
白石区	1583万円	1.1%増	115	27.4年
厚別区	1637万円	2.5%増	65	25.8年
清田区	1166万円	1%増	30	24.5年
豊平区	1425万円	0.3%増	257	32年
手稲区	1112万円	1.5%減	34	27.9年

※平均価格は70m²換算

東京カンテイ

新型コロナ拡大　中小支援を

道信用保証協会　業務体制改編　機動的

北海道信用保証協会は27日、新型コロナウイルス流行で影響を受ける中小企業・小規模事業者の支援に向けて業務体制を改編すると発表した。4月1日に本店保証部の2課2グループを5課制に改編。各課に権限を移譲し、機動的な体制に整備する。

新型コロナ関連の信用保証協会への問い合せ件数は、1月20日から3月25日までに4万件を数える。保証申込みをしたのは14万9629件（206億9909万円）で、うち1282件（70億6

取得した苫小牧高等技専の土地

道セキスイハイム　80区画程度宅地分譲へ

北海道セキスイハイム（札幌市北区北14条西4丁目2の1、高橋晃社長）は、苫小牧高等技術専門学院の土地1万9990平方㍍を取得し、80区画程度の宅地分譲を計画している。9―10月ごろの開発許可が下り次第、造成に入る。2021年春の完了を目指す。

1区画当たりの面積は185平方㍍程度を想定し、販売価格は未定。建築条件は検討中だ。

分譲地は苫小牧市新開町4丁目6の11の同学院がグラウンドとして使用していた土地。18日の道経済部の一般競争入札で落札した。用途地域は建ぺい率60%、容積率200%の第1種住居地域となっている。

明野小から約1・6㌔、明野中から約1・4㌔の距離。約600㍍の位置にイオン苫小牧店があるなど商業施設が充実している。市内の子育て世帯をターゲットに展開する考えだ。

石山組でサ高住新築

日本グランデ　札幌・福住3に

日本グランデ（札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長）は、サービス付き高齢者向け住宅のグランウエルネス福住新築を主体、設備一括で石山組に依頼し、着工した。11月の完成を目指している。

規模はRC造、5階、延べ2031平方㍍。2―5階を居室とし、単身用と2人世帯用の計40戸を配置する。1階は食堂、娯楽ラウンジ、フィットネスルームなどの共用スペースや大浴場を設ける。

土地や建物は日本グランデが所有し、入居者に賃貸する。各居室は26―40平方㍍の広さで、トイレ、洗面所、キッチン、浴室（単身用除く）を完備する。

建設地は札幌市豊平区福住3条1丁目28の9で、地下鉄東豊線福住駅から近い。商業施設や病院もあり、利便性が良い。

看護学科新設　校舎を一部改修

帯広大谷短大が1億円で

【帯広】学校法人帯広大谷学園（音更町希望が丘3の3、桂井智善理事長）は、帯広大谷短大に看護学科を新設する。正看護師を養成する3年課程の学科。最短で202

2年度春の開設を目指し、実習室などは既存校舎を一部改修して対応する方針で、改修費は約1億円を見込む。

同校は1960年に開学。地域教養、生活科学、社会福祉の3学科を設置している。校舎（S造、4階、延べ7845平方㍍）は88年に音更町希望が丘3の3へ移転。その後、講義室や実習室などを増改築している。

十勝管内には看護系の大学がないため、社会福祉科と合わせて地域の医療・福祉に貢献しようと、19年度から看護学科設置を検討。1月に同学園の理事会で決定し、4